

# トータル「がん」補償 掛金と共済金

加入プラン	トータル「がん」プラン	シニアトータル「がん」プラン
加入年齢	満6歳～65歳 <sup>(注1)</sup> 66歳となった場合はシニアトータル「がん」プラン(6,000円)に自動的に移行します。	満66歳～74歳 <sup>(注1)</sup> (継続加入は満80歳まで)
月払掛金	<b>3,000円</b> *1	<b>6,000円</b> *1
共済金額	がん診断共済金	がんと診断確定されたとき <sup>(注2)</sup> 、 入院の有無にかかわらず一時金として <b>100万円</b>
	がん手術共済金	手術の種類により <sup>(注3)</sup> <b>40万円～7.5万円</b>
	がん入院共済金 (1日あたり)	<b>10,000円</b> *2 (1日～無制限)
	病気・けがの手術共済金 <sup>(注3)</sup> (傷害手術共済金・ 疾病手術共済金)	重大手術*3 <b>20万円</b> 入院中 <b>5万円</b> 入院以外 <b>2.5万円</b>
	病気・けがの入院共済金 (傷害入院共済金・疾病入院共済金) (1日あたり)	<b>5,000円</b> (1日～120日まで)*2
	放射線治療共済金 <sup>(注3)</sup>	<b>5万円</b>
	先進医療共済金	<b>305万円～5万円</b> 1回のお支払いは実費の約半額程度となります。
メディカルアシスト	あり	

再発・転移しても安心<sup>(注2)</sup>

お支払日数無制限

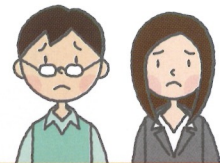
通算支払限度なし

- 新規ご加入の場合、共済期間の初日よりその日を含めて**90日(待機期間)**を経過した日までにがんと診断確定された場合は、がん診断共済金・がん手術共済金・がん入院共済金はお支払いできません。
- 同一事故において、がん手術共済金と病気・けがの手術共済金およびがん入院共済金と病気・けがの入院共済金はそれぞれ重複してお支払いしません。  
(注1) 2013年11月1日時点での満年齢をいいます。
- (注2) がんの診断確定は、病理組織学的所見によりなされることを要します。診断共済金のお支払いは被共済者(共済の対象となる方)ごとに共済期間を通じて1回に限り、また、2回目以降の診断共済金のお支払は、それ以前の診断共済金の支払事由に該当した最終の診断確定日から、その日を含めて1年を超えた期間が経過していることを要します。
- (注3) 手術・放射線治療の内容・種類によっては回数制限があったり、お支払いの対象とならない場合があります。
- \*1. 月額掛金3,000円、月額掛金6,000円に含まれる東京海上日動火災保険株式会社の医療保険の保険料は230円、がん保険の保険料は140円です。がん保険は前述のとおり新規ご加入の方の場合は待機期間があるため、ご加入初年度の保険料は安くなっています。2年目以降のがん保険の保険料は180円となります。  
※上記保険料は、団体割引30%、損害率による割引30%を適用した場合の保険料です。  
支給額のうち、東京海上日動火災保険株式会社のがん保険・医療保険が下記の金額を補償します。  
がん診断共済金:15万円 がん手術共済金:60,000円～7,500円 がん入院共済金:1,500円 病気・けがの入院共済金:750円  
病気・けがの手術共済金:30,000円、7,500円、3,750円 放射線治療共済金:7,500円 先進医療共済金:457,500円～7,500円  
共済金をお支払いする場合、お支払いする共済金、共済金をお支払いしない主な場合については、後記「補償のあらまし」をご覧ください。
- \*2. 1日とは日帰り入院を含みます。日帰り入院とは、1日だけ入院と同じような形で病室を使用した場合などのことをいい、治療費領収書または医療費請求書の「入院料等」の有無を確認し判断します。
- \*3. がんに対する開頭・開胸・開腹手術や日本国内で行われた、心臓移植等の約款に列挙された所定の手術をいいます。

驚きの**確率** ご存知ですか?

一生涯のうち、  
「がん」になるリスク  
(推計値)

約**2**人に**1**人



一生涯のうち、男性の**55.7%**、女性の**41.3%**は**がん**になると言われています。

財団法人がん研究振興財団「がんの統計'12」



医療の発達により、  
**がんは治る病気に**

- がんに打ち克つための**共済**です!!
- 「上皮内がん」「白血病」も**補償**します!!